

対象国の条件 : 中南米地域の火山国

研修コース番号 : 201984500-J002

案件番号 : 201984500

主分野課題 : 防災/その他防災

副分野課題 :

使用言語 : 西語

案件概要

北海道における火山防災の経験を活かして、火山災害リスクの把握、火山災害防止に係る計画策定等を学び、火山災害の危険性を有する地域における行政・コミュニティの連携による防災能力向上を目指す。また、東日本大震災からの復興にかかる経験の共有を図ることにより、我が国における災害復興における最新の取組についての情報を提供する。仙台防災枠組グローバルターゲットE「国及び地方の防災計画の策定推進」を念頭に、火山地域におけるリスク評価（同枠組優先行動1「災害リスクの理解」に位置づけられる。）、火山防災関係者間の連携促進（優先行動2「災害リスクガバナンス」に位置づけられる。）を推進する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

研修参加者の所属組織において行政及び地域コミュニティが連携した火山地域防災能力向上のための計画案が検討・作成される。

【成果】

1. 防災リスクを把握する方法の理解を踏まえて、当該事項の課題が整理される。
2. 火山地域における防災計画、防災体制のあり方の理解を踏まえて、当該事項の課題が整理される。
3. 火山地域における地域振興の事例を踏まえて、活用可能なアイデア等が整理される。
4. 上記単元での課題整理を踏まえて、帰国後実施するアクションプランを作成する。

【対象組織】

中央/地方の火山又は火山活動に起因する土砂災害に係る防災計画に位置づけられている中央政府・地方政府、学術研究機関、市民社会組織、民間企業等

【対象人材】

1. 対象組織における幹部もしくは中間管理職相当者。
2. 現場における防災・減災活動経験を有し、かつ5年以上の実務経験。

内 容

1. 火山災害概論、火山噴火の監視と情報、防災計画（事例研究）、火山学概論、研修旅行（洞爺湖町/壮瞥町、美瑛町）、北海道駒ヶ岳の噴火と災害、火山危機管理特論、世界の火山噴火と危機管理
2. 研修旅行（洞爺湖町/壮瞥町、美瑛町）、災害時の減災支援連携論、北海道の火山における減災プログラム、噴火余地情報と減災コミュニケーション、リアルモニタリングの科学、自然災害と心理学、火山災害とマスメディア、減災社会を支える次世代育成プログラム
3. 研修旅行（洞爺湖町/壮瞥町、美瑛町）、火山との共生、火山観光とジオパーク
4. カントリーレポート発表/質疑、中間ディスカッション、アクションプラン作成、発表

本邦研修期間

2019/5/29～2019/7/4

担当課題部

地球環境部

所管国内機関

JICA北海道（札幌）

関係省庁

実施年度

2018～2020

主要協力機関

特定非営利活動法人環境防災総合政策研究機構

**特記事項
及び
ホームページ**

各対象国の候補者は、研究者、行政官のそれぞれであることが望ましい。